

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公開番号】特開2008-280163(P2008-280163A)

【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2007-127733(P2007-127733)

【国際特許分類】

B 6 5 H 29/70 (2006.01)

B 6 5 H 29/24 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 29/70

B 6 5 H 29/24

C

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月14日(2010.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成部で画像形成された用紙を搬送し、紙受け台上へ排出する排紙装置において、
エア吸引式搬送ベルト機構と、
該エア吸引式搬送ベルト機構により搬送中の用紙を上向きのU字状に湾曲させるU字形
成ガイド機構と、を備え、
該U字形形成ガイド機構は、
用紙幅方向の両側に向かって高くなると共に搬送方向に向かって高くなるように傾斜し
、用紙の幅方向の両端部を持ち上げる一対の持ち上げガイド部と、
搬送方向に向かって用紙幅方向の間隔が狭くなるように形成され、前記U字状の用紙の
幅を狭める一対の絞り込みガイド部と、を有していることを特徴とする排紙装置。

【請求項2】

請求項1記載の排紙装置において、

前記一対の絞り込みガイド部は、用紙搬送方向に見た立面視の形状が、上向きに狭くな
るように形成されていることを特徴とする排紙装置。

【請求項3】

請求項1又は2記載の排紙装置において、

前記持ち上げガイド部の水平面に対する傾斜角度は、変更可能となっていることを特徴
とする排紙装置。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記絞り込みガイド部の平面視での絞り角度は、変更可能となっていることを特徴とす
る排紙装置。

【請求項5】

請求項2乃至4のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記絞り込みガイド部の水平面に対する傾斜角度は、変更可能となっていることを特徴
とする排紙装置。

【請求項6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記エア吸引式搬送ベルト機構の搬送速度は、変更可能となっていることを特徴とする排紙装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記絞り込みガイド部は、前記紙受け台の上方領域まで延びる延長部を一体に有していることを特徴とする排紙装置。

【請求項 8】

請求項 7 記載の排紙装置において、

前記紙受け台の上方位まで延設された絞り込みガイド部の延長部の下部には、切欠きが形成されていることを特徴とする排紙装置。

【請求項 9】

請求項 7 記載の排紙装置において、

前記延長部は、柔軟な材料の樹脂フィルムで形成されていることを特徴とする排紙装置。

【請求項 10】

請求項 8 記載の排紙装置において、

前記延長部の切欠きには、柔軟な材料の樹脂フィルムが配置されていることを特徴とする排紙装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記絞り込みガイド部は、導電性材料で形成されていることを特徴とする排紙装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記絞り込みガイド部の用紙幅方向の中央側の内面には、用紙が接触可能な複数のコロ部材が回転自在に配置されていることを特徴とする排紙装置。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のいずれか一つに記載の排紙装置において、

前記絞り込みガイド部の用紙幅方向の中央側の内面は、低摩擦係数の表面に形成されていることを特徴とする排紙装置。